

## み 吉城高校第70回柏葉祭 みんなで作り上げる文化祭

9月2日(日)～3日(月) 吉城高等学校

高校生が主役となってみんなで作り上げる文化祭「第70回柏葉祭」が9月2日・3日、古川町上気多の吉城高校で行われました。

今年のテーマは「虹～輝かせ吉城の色～」。体育館ステージでは、出演クラスにより演劇、コンサートやパフォーマンスなどが行われ、また、教室では、クラスで考えて作成した展示物や部活動の活動記録・照会などさまざまな作品が紹介されていました。

体育館では、3年C組の生徒が「ハイスクールミュージカル」を披露。コミカルな寸劇があったり、ミュージックに合わせてみんなが踊ったりして会場を沸かせました。



ハイスクールミュージカルを披露する生徒

## 大 第11回大きな輪になって踊ろう盆踊り 大きな輪になり踊りを楽しむ

9月1日(土) 古川町 まつり広場

大きな輪になろう盆踊り実行委員会主催の「第11回大きな輪になろう盆踊り」が1日、古川まつり広場で行われました。

会場では、各種バザーやだんごまきが行われ、大人から子どもまで多くの人でにぎわいました。

盆踊りでは、浴衣姿の市民らがやぐらを取り囲んだ大きな輪になり「飛騨やんさ」「ぜんぜのこ」「松阪踊り」などの踊りを楽しみました。



踊りを楽しむ参加者

## ジ 活用から学ぶ 飛騨ジビエ 活用提案セミナー ジビエを学び美味しく調理

9月7日(金) 市役所

飛騨市観光協会主催の「活用から学ぶ 飛騨ジビエ 活用提案セミナー」が6日、市役所で行われ、ジビエや狩猟に興味のある市民ら22人が参加しました。

このセミナーは、有害鳥獣の被害防止捕獲事業として捕獲したイノシシなどの獣肉を飛騨ジビエとして広く活用してもらうことを目的に行われました。

この日は、ジビエ飛騨高山の今井猛さんが講師として訪れ、「安心・安全で美味しいジビエとは」をテーマに、正しい解体方法や正しく処理されていない肉の危険性、ジビエの美味しい調理方法などを講演しました。



ジビエ料理を試食する参加者

## 秋 数河白山神社で数河獅子奉納 の訪れを告げる獅子

9月5日(水) 古川町数河 白山神社

岐阜県重要無形民俗文化財の数河獅子が5日、古川町数河の白山神社で奉納されました。

数河獅子は約1,300年の歴史があるとされ、雌雄の獅子が戯れる「曲獅子」、農民の金蔵が獅子を退治する「金蔵獅子」、天狗やサル、クマが登場する「天狗獅子」の3演目で構成されています。

この日は、台風の影響で午前中の神事が中止となり、午後から神事と獅子舞が白山神社で奉納されました。獅子舞は、人数不足のため、「曲獅子」のみの奉納となりましたが、肩車や前転、倒立などアクロバティックな動きを見せ、多くの市民や観光客らを魅了しました。



曲獅子を披露する数河若社

## 薬 飛騨市薬草フェスティバル 草で健康寿命を伸ばす

9月8日(土)・9日(日) 飛騨市文化交流センター他

飛騨市内に自生する貴重な薬草資源を活用したイベントが飛騨市文化交流センターで開かれました。

このイベントは、薬草資源を活用し、産業振興や健康寿命の延伸などにつなげるため、官民協働の組織「飛騨市薬草フェスティバル実行委員会」が企画しました。

イベントでは、飛騨市文化交流センターを中心に薬草こけ玉づくりや松葉サイダーづくり、葛の花玉づくり、ハーブティーづくりなどさまざまな薬草を使ったワークショップや、アルプス薬品工業(株)の希少な生薬の標本などの展示、薬草スイーツ試食なども行われ、大勢の参加者が珍しい薬草を使ったものづくりや展示を楽しみました。



貴重な標本を眺める参加者

## 超 スーパーカミオカンデタンク内部を公開 新星背景ニュートリノを観測したい

9月9日(土) 神岡町茂住 神岡鉱山

東京大学宇宙線研究所は9日、神岡町茂住の神岡鉱山にある宇宙素粒子ニュートリノの観測装置「スーパーカミオカンデ」の改修に伴い報道に公開しました。

この改修工事は、10月中旬ごろまで行われ、12月下旬頃までにタンク内に超純水を満たした後、来年1月の観測再開に向けて準備をします。

同研究施設施設長の中畑雅行教授は「この改修の最終目標として、宇宙が誕生してから現在までの超新星爆発によって放出されたニュートリノ『超新星背景ニュートリノ』を捕まえたい」と話していました。



スーパーカミオカンデのタンク内部

## 飛 立教大学学生による飛騨市インターンシップ 騨市の観光政策に提言

9月10日(月) 市役所

立教大学観光部3年の早川優菜さんによる飛騨市インターンシップの成果発表会が市役所で行われました。

このインターンシップは、飛騨市の観光について学生目線での現状把握と課題整理を行い、それを観光政策に生かそうと市が立教大学と協力して行われました。

早川さんは2週間、市内の観光地を回りながら、さまざまな分析を行い、食事や食べ歩きができる店や気軽に泊まれる宿泊施設の少なさなどの課題や、若者向けの情報発信としてSNSを使ったPRや、大学のサークルと連携したPRなど情報発信の大切さなどの分析の結果と提案を報告しました。



自身の思いを話す早川さん

## 自 第20回山の村だいこんマラソン 然豊かな高原を駆け抜ける

9月9日(日) 神岡町山之村

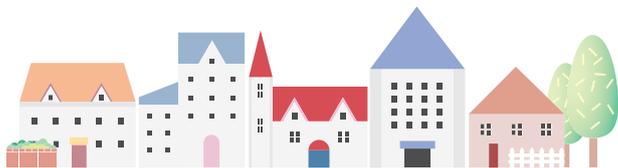
山の村だいこんマラソン大会実行委員会主催の「第20回山の村だいこんマラソン」が9日、神岡町山之村地内で行われました。

大会は、山之村牧場を発着点に、ハーフ、10キロ、5キロ、3キロの4コースが設けられ、1,178人の参加者が標高約1,000メートルの里山を駆け抜けました。

参加者は、悪天候の中それぞれ記録に挑戦したり、家族でゴールを目指したりと自然豊かな高原を一生懸命に走っていました。



元元よくスタートを切るランナーたち



## 百歳おめでとうございます

清水作郎さん百歳褒賞

9月20日(木) 古川町

古川町の清水作郎さんが百歳を迎えられました。都竹市長や市民福祉部の柚原部長らが自宅へ訪問し、賞状やお祝いの花束などを清水さんに手渡しました。

清水さんの趣味は、野球観戦と大活字本を読むことで、毎日、散歩や昼寝、好き嫌い無くなんでも食べるなど健康な毎日を送っています。

清水さんは「ここまで長生きできたのは子どものおかげです」と喜びを教えてくださいました。



花束を手に記念撮影

## 飛騨市ファンが集いin飛騨

飛騨市ファン地元のディープなツアーを満喫

9月15日(土)～16日(日) 飛騨市内

飛騨市ファンの集いが飛騨市で行われ、県内外からのお客様16人が参加しました。

このツアーは、市の魅力を体感してもらおうと企画。都竹市長が自ら古川町内のまつり会館や飛騨の匠、瀬戸川など歴史や文化などについて案内をしました。

案内途中では、三嶋和そろそろく店で白いうそくを染める朱掛けの体験や蒲酒造では酒蔵見学し試飲などを楽しみました。

夜の部では、「かをる」で交流会を開催し、飛騨市の魅力を語りながらお互いに交流を深めました。

二日目には、神岡街歩きガイドの大田さん、倉田さんの案内による街歩きツアーが行われ、参加者たちは観光では気づけない新たな発見を楽しんでいました。



まつり会館で都竹市長と記念撮影

## 飛騨の伝統工芸を語り合う

第3回市長と共にふれあいトーク

9月28日(金) 河合町 ゆうわ〜くはうす

「市長と共にふれあいトーク」が河合町のゆうわ〜くはうすで開かれ、市の取り組みや現場の実情、課題を、テーマに沿って、市長やゲストがトークショー形式で語り合いました。

今回のテーマは「飛騨市の伝統工芸を守る」で、ゲストには、山中和紙の若き後継者として活動をしている河合町のトマト農家の長尾隆司さん、神岡町吉田に400年近く続いている太子踊りの継承をしている吉田太子踊保存会芸能部長の中田利昭さん、宮川町杉原地区で獅子舞の復興伝承活動をしている山下謙太さんをお招きし語り合いました。



ゲストとのトークショーの様子

## き つねの嫁入り情緒豊かに

約32,000人の観客を魅了

9月22日(土) 飛騨古川まつり広場

飛騨古川きつね火まつりが同町のまつり広場をメイン会場に行われました。

たいまつのにぎつねたちが浮かび上がる幻想的な雰囲気、市街地一帯を包み込み、県内外から訪れた約32,000人の観客を魅了しました。

夜には、きつねに扮した花婿と花嫁を乗せた花車を中心とした行列が瀬戸川沿いなどの古いまちなみを練り歩き、沿道にはきつねの嫁入り行列を一目見ようと、多くの観客が詰めかけました。

行列がメイン会場に到着すると、大勢の観客に見守られる中、「結びの儀」が行われ、きつねに扮した和太鼓演奏や獅子舞が披露され、おとぎ話の世界が蘇りました。



町内を練り歩くきつねの嫁入り行列